長野県環境保全研究所研究報告　19：83 － 84（2023）　〈資料〉

長野県環境保全研究所飯綱庁舎自然観察路の植物相補遺Ⅲ

柳澤衿哉 [1,2]

キーワード：植物相，長野市，飯綱高原

1　はじめに

長野県環境保全研究所飯綱庁舎敷地内の敷地西側の自然観察路は自然観察会や各種学習会に利用されることが多いため，観察路沿いの植物相の調査が継続して行われてきた．大塚ほか [1)]，横井ほか [2)]，石田ほか [3)]の報告により，観察路沿いでは総計 95 科 314 種 10 変種 2 雑種がこれまでに報告されている．本報告では以降に新しく確認された維管束植物を報告する．

2　調査方法

調査は大塚ほか [1)]に従い，研究所敷地内の西側観察路（調査ルート延長約 1200m）沿いを探索し，観察路から目視できる範囲（観察路の両側 5m 程）に出現する維管束植物を記録した．なお 2020 年度には観察路の沢にかけられた橋が通行不能となりルートが一部変更されたが，一貫性のため旧ルート沿いを継続して調査した．2018 年から 2022 年にかけて 4 月から 11 月まで不定期に調査を行った．補遺目録（表１）の科名，学名，科属の配列等は，既報に従い長野県植物誌 [4)]に拠った．長野県植物誌刊行後に分布が確認された種，分類が見直された種の学名については，長野県植物目録 [5)]に従った．

3　結果

調査の結果，新たに追加されたのは 14 科 12 種 1 亜種 2 変種となった（表１）．これにより，観察路沿いで確認された維管束植物の合計は 96 科 371 種 1 亜種 4 変種 1 品種となった．

キバナオドリコソウは筆者が長野県新産外来種として報告したものである [6)]．群落を年々拡大しており観察路沿いでも見られるようになった．

トウゴクマムシグサは石田ほか [3)]によって敷地内の標本があることが確認されたが，西側観察路沿いか不明なため掲載しなかった．今回西側観察路沿いにて標本と同様の特徴を持つテンナンショウを確認したため，トウゴクマムシグサの記録とした．また観察路沿いには通常仏炎苞が緑色となるキタマムシグサの仏炎苞が紫褐色になった個体もたびたび見られ，トウゴクマムシグサと混同しやすく注意が必要であった．

表１　環境保全研究所自然観察路沿いの植物目録補遺Ⅲ

科および和名	学名
オシダ科	
タニヘゴ	*Dryopteris tokyoensis*
メシダ科	
フモトシケシダ	*Deparia pseudoconilii*
ナデシコ科	
オオヤマフスマ	*Arenaria lateriflora*
アブラナ科	
オオケタネツケバナ	*Cardamine dentipetala*
バラ科	
ミヤマニガイチゴ	*Rubus subcrataegifolius*
ウコギ科	
ケヤマウコギ	*Eleutherococcus divaricatus*
ツツジ科	
シャクジョウソウ	*Hypopitys monotropa*
シソ科	
キバナオドリコソウ	*Lamium galeobdolon*
ウツボグサ	*Prunella vulgaris* subsp. *asiatica*
キク科	
ノッポロガンクビソウ	*Carpesium divaricatum* var. *matsuei*
ヤマノイモ科	
コシジドコロ	*Dioscorea septemloba* var. *platyphylla*
イネ科	
チシマザサ	*Sasa kurilensis*
サトイモ科	
トウゴクマムシグサ	*Arisaema koidzumianum*
ラン科	
クモキリソウ	*Liparis kumokiri*

1　長野県環境保全研究所　自然環境部　〒381-0075　長野市北郷 2054-120
2　現：退職

文　献

1) 大塚孝一・永井茂富・尾関雅章（2008）　長野県環境保全研究所飯綱庁舎自然観察路沿いの植物相．長野県環境保全研究所研究報告4：97-103.

2) 横井力・大塚孝一・尾関雅章（2012）長野県環境保全研究所飯綱庁舎自然観察路の植物相補遺Ⅰ．長野県環境保全研究所研究報告 8：75-76.

3) 石田祐子・中山洌（2018）長野県環境保全研究所飯綱庁舎自然観察路の植物相補遺Ⅱ．長野県環境保全研究所研究報告 14：19-22.

4) 清水建美（監）・長野県植物誌編纂委員会（編）（1997）長野県植物誌．信濃毎日新聞社，長野.

5) 長野県植物目録編纂委員会（2017）長野県植物目録-長野県植物誌改訂に向けてのチェックリスト(2017 年版)．中央プリント株式会社，長野.

6) 柳澤衿哉(2022) 長野県新産外来種の報告．長野県植物研究会誌 55：125-131.

Flora along the footpath in the nature observation area of Environmental Conservation Research Institute in Iizuna heights, Nagano City : Supplement Ⅲ

Eriya YANAGISAWA[1,2]

1 *Natural Environment Division, Nagano Environmental Conservation Research Institute, 2054-120 Kitago, Nagano 381-0075, Japan*

2 *Present address：Retirement*